

研究会グループ：環境経営研究会

平成28年度活動報告及び平成29年度活動計画（案）

担当幹事 長安 敏夫

環境経営研究会の目的は相互研鑽を通じて環境経営の重要性・意義を認識すると共に、企業の発展と社会貢献を両立させる環境経営のあり方を研究し発信すること、並びに企業の環境経営を支援することである。

環境経営の支援としては、環境経営全般の場合もあれば、環境マネジメントの改善支援、環境報告書やCSR報告書に関する支援など種々の形態を考えている。

1. 平成28年度活動報告

平成28年1月～12月に9回(第15回～23回)の会合をもった。いずれも5名出席。

- ★平成28年は研究会の基本方針転換を図った。CSR・環境報告書中心の活動より、環境経営全体を研究・活動対象とした。これに伴いパンフレットも改訂した(HP掲載)。
- ★前年に引き続き中小企業にとっての環境経営のあり方を認識するために、日経エコロジーの連載記事「中小企業のための環境マネジメント」の学習を続けている。
- ★環境マネジメントシステム国際規格の大幅改訂版：ISO14001:2015を学習した。この機会に法人会員宛に「ISO活用支援のご案内」を配布し、環境経営改善に関する支援を提案した(現在迄は支援要請無し)。
- ★法人会員である㈱イプロス社ホームページの技術者向けサイト(Tech Note)に他研究会の方々の協力も得て環境関係の記事投稿。公害、大気、水質、廃棄物リサイクル関係で合計16件掲載中。今後も継続予定。
- ★11月の第104回技術懇談会で「環境経営研究会の活動紹介」発表。

2. 平成29年度活動計画(案)

以下の活動を通じて研究会として具体的に実施できることを提案し、取り組んでいく。

(1) 環境経営の研究継続

引き続き日経エコロジー記事などの学習により、中小企業にとっての環境経営のあり方、効果的な取り組みを研究する。

(2) 環境経営支援手順の確立

「環境経営支援マニュアル」(現在作成中)を完成し、実用化していく。
当研究会特有の支援内容の充実(研究中)。

(3) 研究成果の外部発信

ホームページを通じて外部発信を続ける。

以上